

文 部 科 学 省 情報ひろばサイエンスカフェ

主催 文部科学省 共催 新型 科学技術振興機構

~サイエンスアゴラ 2017 連携企画 (テーマ "越境する") ~

ニにをのサ 専 つ片 イ 手門工 家 ス 自 気と 軽一力 由 にに般フ 工 語科の は 学方 合な々科 どが学 コの飲者 ミ話みな ュ題物ど



日時 平成 30 年 1 月 26 日 (金) 19:00~20:30 (18:30 受付開始)

会場 文部科学省情報ひろばラウンジ

東京都千代田区霞が関3-2-2

【アクセス】銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結、千代田線「霞ケ関駅」A13番出口 徒歩5分

講師 槇田 諭 (佐世保工業高等専門学校・電子制御工学科 講師, 博士 (工学))

ファシリテーター 瀬戸 文美 (東北大学・男女共同参画推進センター 助手,博士 (工学))

内容 将来のさらなる応用・発展が期待されるロボット技術(RT)、また高度化・大規模化する情報ならびに情報通信技術(ICT)は社会にどのような変化をもたらすのか。ロボット・情報が社会とどうつながるのか、社会をどうつなげるのか、ロボット研究の観点からこれらをお話し、一緒に議論できればと思います。佐世保高専では長崎県の離島地区を中心に科学技術コミュニケーション事業を展開しています。交通手段が限定されて外部との交流が少ない遠隔地で先端の科学技術に触れるためにはどうすればよいか。その一つの方法がロボット、インターネットなどを活用したバーチャル体験です。科学技術の発展はさまざまな困難や障害をクリアして、人間のより創造的な活動を実現できるものです。今回のサイエンスカフェでは、私の専門であるロボティクス研究と、科学技術コミュニケーション事業を通じて目指す豊かな社会の展望を対話したいと思います。

申込

"氏名"および"1月26日サイエンスカフェ参加希望"の旨御記入の上、

sciencecafe@devotion-japan.com まで E-mail にてお申し込みください

 "越境する"を掲げ、 (専門や重視する軸)× (別の領域、越境先)という切り口でお届けします。
 <サイエンスアゴラに関する詳細はこちら> <u>http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/</u>

【サイエンスカフェ予習編】

ロボット・情報 × つながりってなんだろう? ~ テクノロジーを駆使してより豊かな生活へ~

1月の情報ひろばサイエンスカフェは、佐世保高専の槇田先生をお迎えします。皆さんと対話を行う前に、講師・ファシリテーターの先生方がどんな方か、ちょっとだけ予習してみましょう。

講師の槇田先生ってこんな人!

佐世保高専でロボットによる物体操作、球技でのボール操作の運動解析などを研究しています。対馬野生生物保護センターとの共同研究「ツシマヤマネコの生態調査」をきっかけに長崎県の離島地区における科学技術コミュニケーション活動を始めました。ロボットやインターネットを使えば遠隔地にいながらさまざまな最先端コンテンツに触れることができます。また、講演会「このロボットがすごい」を主催してネットで動画を公開していますのでぜひご覧ください。http://konorobo.main.jp/ 今回のサイエンスカフェではテクノロジーと人間の関わり方について議論したいと思います。



ファシリテーターの瀬戸先生ってこんな人!



ロボット工学を研究していた博士課程在学中に、次世代に科学の魅力や研究の面白さを伝える『東北大学サイエンス・エンジェル』の第一期生として活動を行っていました。それから 10 数年の時と紆余曲折を経て、本年度より東北大学男女共同参画推進センターの助手として、再び東北大学サイエンス・エンジェル活動に携わることに。また『物書きエンジニア』として科学技術に関する執筆活動も行っており、『私のとなりのロボットなヒト: 理系女子がロボット系男子に聞く』(近代科学社)、『絵でわかるロボットのしくみ(KS 絵でわかるシリーズ)』(講談社)などの著書があります。



今回のサイエンスカフェのイチオシポイント!

- ・ 先端技術を使ってサイエンスコミュニケーションをするロボット研究者とお話しできます
- · テレプレゼンスロボットを操作・体験できます

今回のサイエンスカフェで考えてみたいこと…

- ・ ロボット・情報技術が人間の生活をどうやって豊かにするのか想像しよう
- · 交通が発達していない遠隔地で科学技術をどうやって学ぶ?都会との違いは?

今回の難易度 … ★☆☆

(ロボットとか ICT とか興味があって、使ってみたい!な人向け)

【今後の開催予定】

開催日	講師名(所属)	テーマ
2018.3.30 (金)	内田めぐみ 先生(電気通信大学情報理工学研究科基盤理工学専攻 美濃	ひかり×ひと
	島研究室 大学院生)	